

不思議のご縁口マン溢れる旅

Writer : 柳 千秀 様

2月19日午後7時5分「さんふらわあこばると」は、大阪南港コスモフェリーターミナルを定刻に出航。笑顔で出迎えてくれる船員さん、やさしいアナウンスが旅立つ私の心の緊張をほぐしてくれる。船内でゆったり、のんびり向い合う私と妻は至福のひとときを過ごす。これが船旅の醍醐味である。翌朝、定刻に別府観光港に到着。天候は晴れ。

今回の旅は、さんふらわあトラベルのモニターツアーに応募した作品が運よく入選し、「温泉三昧・別府温泉の旅」をペアで招待されたものである。白菊ホテルで朝食をとった後、早速、フリープランの一番目の訪問先である八幡総本宮宇佐神宮へ。広大な敷地の中に美しい本殿は国宝に指定されており、総本宮にふさわしい威容を誇っている。

参拝して、さい銭箱に“五円玉”一枚を入れ、御礼を申し上げた。実は、約五十年前の高校の修学旅行で、私は今回と同じように、このさい銭箱に“五円玉”一枚を入れ
「人生に良いご縁がありますように」と、願ったのであった。

人生不思議なことが起こるものである。何を隠そう、今私の横に立っている妻がこの宇佐の出身なのである。京都生まれ育ちの私とご縁があつて結婚して四十年になる。ここは縁結びの神様だと、私は今も固く信じている。



午後からは、同じ宇佐市内にある宇佐市平和資料館を訪れた。見学して平和の大切さ、命の尊さをあらためて学ぶことができた。ちなみに今話題の映画「永遠の0」の撮影で使用された実物大の零戦 21型模型を展示している。当時の戦闘機の大きさなどを肌で感じることができた。



夕方、ホテルに戻り、湯の趣ここにあり。温泉に入って、体を温めていると、心が癒される。

そして、新鮮な海の幸、山の幸を使った美味しい料理。ホテル自慢の焼酎とワインで宇佐美人？の妻と乾杯。「ボクは幸せだなあ」と感じたのである。

二月二十一日。天候は今日も晴れ。別府市内の観光に出かけた。路線バスで行く“べっぷFree”乗車券が便利である。

まず、別府地獄めぐりへ。地獄とは、千年以上も昔から百度前後の噴気・熱泥・熱湯が地上に凄まじい勢いで噴出し、



人々が近寄ることが出来ない土地であったことに由来しているそうだ。涼し気なコバルトブルーの海地獄を見ていると、自然破壊を戒しめる地球の叫びのようにも私は思えた。

ランチタイムになって観光客にも人気の店“甘味茶屋”に入った。だんご汁ととり天などを注文。合せ味噌を使っただんご汁は私の好物である。食欲旺盛しつかり食べて、午後からは、あまり目立たないスポットであるが「清島アパート」という所に行った。JR 別府駅からも近いこのアパートは、若手アーティストの居住兼制作の場なのである。見学の際芸術作品制作に向き合う若者から説明

を聞きロマンを感じる。生活面においてたいへんなこともあるようだが、前向きに生きる若者の姿に感動した。良い作品を世に出て欲しいと想いを託した。

夕方、元気で帰途につく。ホテル迎えのタクシーが来た。港までの車中で、宇佐・別府の二日間を振り返り、アッという間に過ぎたように感じた。楽しかった。タクシー運転手さんをはじめ白菊ホテルの従業員皆様など出会った多くの人々の親切が嬉しかった。ありがとう。



以上